



リポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
 kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月1日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,400 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 2. 29 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,333 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 2. 29 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/1	2	3	4	5	6	7
曜 日	木	金	土	日	月	火	水
宿 泊 者	18	17	18	16	14	16	15
活 動 者	21	19	21	19	14	15	17
内 訳	個 人	21	19	21	19	14	15
	団 体	0	0	0	0	0	0

ブログ「かわいキャンプ日誌」再開しました

- ◆ かわいキャンプのブログ「かわいキャンプ日誌」が、2月21日の朝からCANPANサイトのリニューアルのため、内容の更新ができないでおりましたが、きょう1日昼から再開できることとなりました。再開第1号のニュースは、岩手大学の学生さんによるかわボラさんへの郷土食のおもてなし（下記に載せております。）です。
- ◆ 今後とも、キャンプ最大の情報提供手段として、キャンプの様子やボランティアさんの活動などについて全国に向けて発信し、「かわい」に行ってみようか、また行ってみようか、あの人に会ってみたいと思っていただけるようなニュースを提供したいと思っております。

岩手大学の学生さんから

郷土食のおもてな

- ◆ きとう2月29日の夜、岩手大学教育学部家政科の学生さんからかわボラさんへ岩手の郷土食のおもてなしがありました。キャンプには午後4時頃見えられ、食堂(旧調理実習室)で準備を行いました。夕方、活動から帰られたかわボラさんは、学生さんと一緒に岩手の具材を使った太巻き寿司、お吸い物、きりせんしょ*どを、おいしくいただきました。



- ◆ 冬季の間、かわいキャンプに滞在し被災地への支援活動を続けられたかわボラさんに心温まるプレゼントとなりました。

*きりせんしょ 岩手の各地域に昔から伝わる郷土料理。米粉を練り上げた饅頭のようなもので、くるみや黒砂糖、ごまなどが入っています。作り方や味付け、形も地域によって様々です。



レポートかわいいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月3日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,435 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 2 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,374 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 2 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/3	4	5	6	7	8	9
曜 日	土	日	月	火	水	木	金
宿 泊 者	22	18	17	21	22	21	24
活 動 者	26	26	20	22	23	23	28
内 訳	個 人	26	20	22	23	23	22
	団 体	0	0	0	0	0	6

盛岡市ボラ連 宮古の仮設住宅で雛まつり

- ◆ きょう3月3日はひなまつり。沿岸被災地の仮設住宅では、思い思いの雛まつりが行われました。ここ愛宕小学校仮設住宅集会所では、お住まいの方々が盛岡市ボランティア連絡協議会（会長 工藤宏行さん）のメンバーと一緒に折り紙ひな人形を作って雛まつりを楽しみました。好きな折り紙を選んでお内裏さま、お雛さまを作り、ひな壇とともに色紙に貼り付けるものです。
- ◆ また、人形劇「だるまちゃんとてんぐちゃん」が、お住まいの方々も参加し賑やかに演じられました。最後は、「白玉ぜんざい」とお茶っこで和やかな時間を過ごしました。
- ◆ この日同協議会では、愛宕小学校仮設住宅ほか6カ所の仮設住宅で行われた雛まつりやサロン活動に22名が参加しました。



雛人形製作中



人形劇「だるまちゃんとてんぐちゃん」



完成した雛人形でにっこり … (愛宕小学校仮設住宅集会所)



「白玉ぜんざい」も出ました!

*写真は宮古市生活復興支援センターブログから



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
☎ 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ
☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月5日現在)

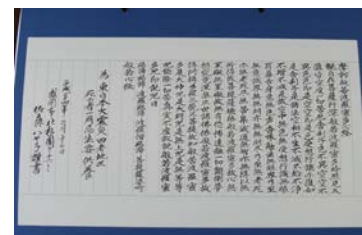
- 宿泊利用者数 延べ 6,475 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 4 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,426 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 4 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分		3/5	6	7	8	9	10	11
曜 日		月	火	水	木	金	土	日
宿 泊 者		17	21	22	21	24	46	27
活 動 者		20	22	23	23	28	68	49
内 訳	個 人	20	22	23	23	22	45	49
	団 体	0	0	0	0	6	23	0

盛岡市北松園町内会

鎮魂の写経を宮古市・田老に贈る

- ◆ きょう盛岡市総合福祉センターで、盛岡市北松園町内会(会長 熊谷喜美男さん)から、宮古市田老地区で震災の犠牲となられた方々の冥福を祈って綴られた「写経」167編の受け渡し式がありました。
- ◆ この写経は、地元の民生委員さんが中心となって立ち上げた同町内会「ふれあいいきいきサロン活動」の一環として行われたもので、サロン担い手リーダーで書道師範の佐藤ハヤ子さんのご指導の下に、サロンの参加者の方々が1周忌に向けて取り組んできました。
- ◆ 受け渡し式には、宮古市社協から福祉活動専門員の有原さんが出席し、お礼の言葉を述べられました。出席された町内会の皆さんお一人おひとりからは、写経に臨んだ鎮魂の強い思いが語られました。

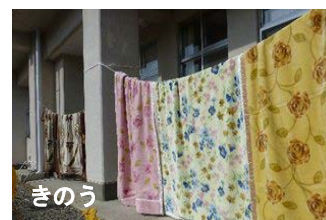


キャンプも 春の雪の洗礼 !!

- ◆ きょう、かわいキャンプでは朝から間断なく降り積む春の雪に見舞われました。きのう4日は、毛布の日干しもキャンプの軒先でできる陽気となりましたが、せっかく乾いた道路も一変、すっかり白く覆われました。この雪も夕方には雨に変わる模様で、春間近を告げる淡い雪となりそうです。
- ◆ この日キャンプから参加するボランティアさん17名は、宮古市の仮設住宅サロン活動、写真返却会に向けた写真などの整理・準備、山田町の煮干し蒸籠洗浄作業、大槌町シーサイドタウンマスト催事会場での思い出の写真返却展の運営支援、かわいキャンプでの写真洗浄、乾燥などの活動を行います。雪の降りしきる中、ハイエースはきょうも活動場所に向かって元気に出発しました。



きょう



きのう



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
☎ 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ
☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月7日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,515 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 6 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,467 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 6 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/7	8	9	10	11	12	13
曜 日	水	木	金	土	日	月	火
宿 泊 者	24	25	39	53	33	28	24
活 動 者	26	25	36	78	60	34	28
内 個 人	26	25	30	56	60	34	28
訳 団 体	0	0	6	22	0	0	0

3月10日・11日 宮古市民総合体育館

写真、アルバムなど震災遺留品返却会の準備進む

- ◆ 宮古市の東日本大震災 1 周年追悼式の会場となる宮古市民総合体育館(シーアリーナ)で開催される震災遺留品返却会を間近に控え、洗浄、乾燥の処理を終えた写真、アルバム等の整理作業を行っています。現在、宮古市から作業場所として提供された宮古市生活復興支援センター前のプレハブ内で、パソコンを駆使しながら連日データの照合など写真確認作業を続けています。
- ◆ 展示物を見やすくするため、会場のレイアウトを工夫しながら回収された地区や所有者の方の名前の分かるものは明示するなど、できるだけ多くの思い出が戻ることができるよう、ボランティアさん、宮古市役所職員さん、キャンプスタッフが一緒に準備を進めています。
- ◆ 6日現在、宮古市内で回収された写真、アルバムなどの洗浄、乾燥、整理等の作業には昨年 10 月 31 日から延べ 94 日、825 名のボランティアさんが参加されました。10 日(土)、11 日(日)に開催される遺留品返却会の運営には、ボランティアさんを中心に 30 名を超えるスタッフが当たるなど、かわいキャンプを挙げて体制をとることとしております。





レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月11日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,652 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 10 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,634 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 10 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/11	12	13	14	15	16	17
曜 日	日	月	火	水	木	金	土
宿 泊 者	38	35	32	30	21	19	36
活 動 者	62	43	43	42	47	42	31
内 訳	個 人	62	43	35	34	24	23
	団 体	0	0	8	8	23	19
		0	0	8	8	23	19
		0	0	8	8	23	4

震災1年 宮古市で追悼式 山根りんさん(宮古商高2年)追悼の言葉

- ◆ きょう 11 日、15,000 名を超える犠牲者を出した東日本大震災から 1 年。全国各地で鎮魂の追悼式が行われました。ここ宮古市では、雪が舞い散り冷え込む中、東日本大震災一周年追悼式が宮古市民総合体育館(シーアリーナ)で開催されました。会場には、約 2,000 名の遺族や市民の方々が参列され、かわいキャンプからも瀧野所長と千葉副所長が出席しました。
- ◆ 追悼式では、山本宮古市長さんが式辞で復興への強い決意を述べられました。遺族代表の山根りんさんは、亡きお母さんに対する思いを「母に感謝の言葉をかけることも、親孝行もできなかったが、私が生きていることが一番の恩返し」と述べ、「たくさんの人の支援に人間の温かさを知った。漁業の町・宮古市の復興のために、震災を体験し生き抜いた者として風化させることなく伝え、世界・日本中からの支援に感謝し必ず恩返ししたい」と追悼の言葉がありました。
- ◆ また、「わたしの主張宮古地区大会 “命てんでんこ”」と題してわたしの主張宮古地区大会で最優秀賞に輝いた宮古市田老第一中 2 年の加藤諒太さんが「何度も津波の被害に遭い乗り越えてきた町・田老。校歌の 3 番に田老一中生の進むべき道を示している」として、「防浪堤を仰ぎ見よ 試練の津波幾たびぞ 乗り越え立てし 我が郷土 父祖の偉業や跡継がん」と大きな声で朗々と歌い上げ、「あの日のことをたくさんの人に伝え、命を大切にしよう伝え、けっしてあきらめず僕らの未来をつくりたい」と締めくくりました。
- ◆ 地震発生時刻の午後 2 時 46 分、政府主催の追悼式典の中継に合わせて 1 分間の黙とうを捧げました。9 日現在、岩手県内で亡くなられた方は 4,671 名。1 年も経つというのに行方が分からない方は未だ 1,261 名に上っています。岩手県警と海上保安部が、9 日から 3 日間、延べ 1,140 名を投入し、行方不明の方の大規模捜索が行われましたが、発見されなかったということです。





レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
☎ 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ
☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

宮古市大震災遺留品返却会 津波で流出した写真、アルバム市民へ戻る

- ◆ 10日と11日、宮古市民総合体育館(シーアリーナ)で津波で流出し宮古市内で回収された写真、アルバムなど約2万点の返却会が開催されました。これまで2回公開されましたが、泥やカビなどが付着したものが多くあったことから、宮古市役所さんにはかわいキャンプから洗浄の協力をお伝えしました。当初は富士フィルムさんのご指導を受けて作業に取り組みましたが、今年1月からは、かわボラさんの理解を得て、キャンプに未処理の遺留品を持ち込んで処理を急ぎました。
- ◆ 今回の返却会に向けて、昨年10月31日から今年3月9日まで延べ約100日、約850名のボランティアさんにこの作業に携わっていただきました。この間、地元岩手県立宮古高校一年の全クラスの生徒さんが、6日間、255名も参加していただいたほか、盛岡市内を始め岩手県内の方々からも日帰りでの支援を受けました。
- ◆ この返却会は、宮古市民総合体育館(シーアリーナ)で開催された東日本大震災一周年追悼式に合わせて開かれたこともあって、多くの市民の方が来場されました。会場では、思い出の中で自分の肉親に出会うことができたり、親戚、友人、知人の姿に再開する光景が見られました。開催両日で来場者数は約700名、運営に従事されたボランティアさんは延べ200名に達しました。
- ◆ 4月からは、宮古市役所さんが宮古市総合福祉センター(生活復興支援センター)敷地の一角に設置した「(仮称)宮古市写真救済センター」で、津波遺留品の常時公開が行われます。
- ◆ 処理作業の段取りから返却会の運営企画まで当たられたボランティアリーダーの皆さん、ご苦労さまでした。



かわいキャンプからも「祈りの灯火」

- ◆ 11日の夜、盛岡広域圏市町村長懇談会(会長 谷藤盛岡市長)が震災一周年を追悼して開催する「復興への誓い〜2万個の灯火」にかわいキャンプも参加しました。かわボラさんはこの日に向けて、活動を終えた後の時間などを利用しながら、牛乳パックを加工し「祈り」などの文字や模様を切り抜いた灯籠を制作してきました。
- ◆ キャンプ前の広場で蠟燭の火にやわらかく浮かび上がる灯籠に、犠牲となられた方々への鎮魂を表すとともに、復興支援への誓いを新たにしました。





リポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
 kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月15日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,792 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 14 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,826 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 14 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/15	16	17	18	19	20	21
曜 日	木	金	土	日	月	火	水
宿 泊 者	27	23	42	40	27	18	17
活 動 者	51	46	36	45	34	25	21
内 個 人	28	27	32	45	34	25	21
訳 団 体	23	19	4	0	0	0	0

キャンプの写真洗浄 被災地のモデルに

- ◆ このほど、写真救済プロジェクトに取り組んでいる富士フィルムさんからかわいキャンプの写真洗浄の様子を取りまとめた写真集(非売品)が発刊されました。写真洗浄の一連の作業の流れを順を追って写真で紹介したもので、A5判の立派なものです。この写真集には、洗浄リーダーの一人、古橋正義さん(栃木県)が表紙を飾っているほか、作業に従事されたかわボラさんが多数登場しています。
- ◆ 富士フィルムさんからは、昨年10月末に宮古市さんからの依頼で宮古小学校給食室で作業を始める際に、同社のプロジェクトの一環として専門知識のある社員の方から作業の指導を受けました。富士フィルムさんでは、今後、この写真集を写真洗浄のテキストとして使用したいということです。



被災地“復興支援”ツアー募集 大槌・復興菜の花畑と語り部の津波体験講話



- ◆ 106 急行バスを運営する岩手県北バスの関連企業、岩手県北観光では、被災ガイドさんによる被災地案内や復興食堂、道の駅、魚菜市場での買物などの被災地支援ツアーを募集しています。ボランティアさんが整備した大槌川河川敷復興菜の花畑の見学もあります。内陸部の方々に被災地を知っていただき、被災地でお金の消費を勧める企画ツアーです。陸前高田、田野畑においても同様のツアーが行われます。大槌町の実施日は4/28~30、5/3~4。問い合わせは岩手県北観光☎0120-183-705まで。



リポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
 kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月18日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 6,899 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 17 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 7,971 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 17 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/18	19	20	21	22	23	24
曜 日	日	月	火	水	木	金	土
宿 泊 者	55	39	28	27	28	43	36
活 動 者	63	50	40	28	30	30	41
内 訳	個 人	63	50	40	28	30	30
	団 体	0	0	0	0	0	13

本日の活動者 63 名、宿泊者 55 名

キャンプに活気が戻る

- ◆ きょう 18 日、キャンプでは活動される方が 63 名、宿泊される方が 55 名と、久方ぶりに活気が戻りました。その全部のボランティアさんが個人で申し込みされた方々です。全国からの個人ボランティアさんの結集を目指したキャンプの役割が果たされています。岩手は、例年より冷え込みが厳しいとはいえ、3 月に入ると文字どおりの三寒四温を繰り返しながら、確実に春めいてきております。活動の内容も、大槌町では被災した民家や側溝の泥出しが始まるなど、屋外での力仕事のニーズも出始めています。
- ◆ きょうのかわボラさんは、宮古市では仮設住宅 6 カ所のサロン活動などに、大槌町ではシーサイドタウン「マスト」催事会場で開催する写真返却展の運営支援と源水川地区側溝の泥出し作業に、キャンプ内では宮古市内で回収された写真等の洗浄・乾燥作業に参加します。穏やかな朝の日差しの中、ボランティアさんは、マイクロバス 1 台、ハイエース 2 台に分乗し、元気に出発しました。





レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月21日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 7,021 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 20 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 8,123 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 20 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/21	22	23	24	25	26	27
曜 日	水	木	金	土	日	月	火
宿 泊 者	30	33	44	40	34	37	28
活 動 者	29	32	32	46	39	36	30
内 訳	個 人	29	32	32	33	31	27
	団 体	0	0	0	13	8	3

キャンプ 259 日 宿泊利用者 7,000 人を突破

- ◆ きのう 20 日、キャンプの宿泊利用者は延べ 7 千名を突破し、7,021 名に達しました。昨年 7 月のキャンプオープン以来 259 日目の達成です。全国各都道府県はもちろんのこと、海外からも支援活動に駆け付けていただいております。男性が約 7 割、女性が約 3 割の利用ですが、このところ女性の参加が増えてきております。
- ◆ 被災現地等で活動されたかわボラさんは、8,123 名に上っております。開設以来、かわボラさんには瓦礫撤去・泥出し・河川清掃等の作業(38%)や、写真の洗浄・整理作業(21%)、仮設住宅のサロン活動・支援(15%)、イベントの開催・支援(11%)などに参加していただきました。この冬場、被災地の復興支援センターが活動規模を縮小する中で、キャンプは、宮古市さんに提案し依頼された写真洗浄・整理作業や仮設住宅のサロン活動を中心に、長期的に滞在するボランティアさんやリピーターさんの活躍もあって大健闘しました。この様子は、多くのマスコミでも取り上げられ、かわボラさんの支援活動に賭ける思いが紹介されました。
- ◆ 3 月中旬にもなると、屋外などでの肉体労働(?)が始まるなど活動の範囲も広がっており、3 月の宿泊利用者さんは 1 千名に達する見込みです。昨年 9 月に次ぐ大きさとなっており、今後さらに多くのボランティアさんが、全国各地から参加していただけるものと期待しております。



マイクロバスで宮古市仮設住宅サロン活動などに出発



大槌町で始まった個人宅のペンキ塗り作業



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
 ☎ 019-651-1000
 盛岡市かわいキャンプ
 ☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況（3月23日現在）

- 宿泊利用者数 延べ 7,084 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 22 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 8,184 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 22 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/23	24	25	26	27	28	29
曜 日	金	土	日	月	火	水	木
宿 泊 者	44	40	34	37	28	35	52
活 動 者	32	46	39	36	30	31	39
内 訳	個 人	32	34	31	25	27	28
	団 体	0	12	8	11	3	3



息の長い支援を かわいキャンプに

- ◆ かわいキャンプは、昨年7月東日本大震災による被災地のボランティア活動拠点施設として盛岡市社会福祉協議会が盛岡市から委託を受けて運営しています。被災地に近い場所で後方支援基地としての役割を果たそうというものです。施設は、旧岩手県立宮古高等学校川井校（平成22年3月閉校）の校舎を岩手県教育委員会からお借りしているものです。
- ◆ キャンプは、総勢10名～12名のスタッフで24時間常駐体制で臨んでいます。スタッフの中には、沿岸被災地や地元川井地区に住む者もおります。ボランティアさんの受入れ、被災地の復興支援センターとのボランティアニーズの調整、ボランティアさんの送迎運転のほかに、活動者全員を集めて行う毎朝のオリエンテーション、被災地の復興支援センターからの活動情報の収集、支援活動の企画提案、問い合わせメールへの回答、体調が優れない方やけがされた方の診療所の搬送受診、ボランティアさん間の意見調整、支援物資の管理、施設修繕など建物の管理、活動記録の取りまとめ・報告など、様々な仕事に従事しております。
- ◆ キャンプの利用者さんは、個人で参加される方が圧倒的に多い状況です。その中で、長期的にキャンプを利用しているボランティアさんやリピーターさんの力は大きく、キャンプ運営の頼もしい存在です。毎日駆け付けるボランティアさんのリーダーとなり、丁寧な作業の指導をはじめ作業中の健康管理や緊急時の対応にまで目配り、気配りをさせていただいております。また、難しい作業も引き受けていただくなど、被災地の復興支援センターからは大きな信頼をいただき、キャンプの存在意義を高めることにつながっております。
- ◆ 4月以降もかわいキャンプは、全国のボランティアさんの力をいただいて支援活動を継続します。暮らしの復興、古里の復興は、息の長い継続した支援活動から生まれます。ボランティア活動がその課題の全てを解決するには至りません。「ボランティアをさせていただいている」という、ほんの少しの喜びを心に仕舞いながら活動に向かうことが、ボランティアが被災された方々の心に寄り添うことであると思っています。



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
☎ 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ
☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月27日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 7,255 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 26 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 8,345 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 26 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分		3/27	28	29	30	31	4/1	2
曜 日		火	水	木	金	土	日	月
宿 泊 者		39	45	56	58	9	6	5
活 動 者		39	46	47	55	50	7	5
内 訳	個 人	34	40	44	36	29	7	5
	団 体	5	6	3	19	21	0	0

地元紙に投稿

心に残る宮古でのボランティア活動

- ◆ きょう3月27日付けの岩手日報紙に、この3月に約2週間かわいキャンプに滞在し、支援活動をされたかわボラ矢野倉 隆さの欄に掲載されました。
- ◆ 震災1周年に当たる3月却会の支援や仮設住宅の談の支援に、全国各地からキも数多くいらっしゃいまし
- ◆ 懐かしい顔ぶれがそろったタッフで2月に宮古市の田スタッフ（大井喜貴さん(宮カメを差し入れてくれたこな食感で美味しかったこと仮設住宅でのサロン活動での方のお話など)についても
- ◆ 矢野倉さんは、これまでもいます。キャンプの活動のなかでの出会いや被災された方との交流を大切にしていることが分かります。



11日、宮古市の写真返話室でのサロン活動などキャンプのリピーターさんた。

この日に、キャンプのス老漁協に復職した元運営古市))が、取れたてのワと。田老のワカメは独特を述べています。また、お会いした田老の被災者紹介しています。

何回か同紙に投稿されて

かわいキャンプは、平成24年度も復興支援ボランティア活動拠点として盛岡市社会福祉協議会が運営します。ボランティアの皆様のご愛顧をよろしくお願いし



レポートかわいキャンプ

盛岡市災害ボランティアセンター
☎ 019-651-1000
盛岡市かわいキャンプ
☎ 0193-76-2005
kawai-camp@echna.ne.jp

キャンプ利用状況 (3月31日現在)

- 宿泊利用者数 延べ 7,477 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 3. 31 宿泊予定分までの累計
- 活動者数 延べ 8,587 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 3. 31 活動予定分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	3/31	4/1	2	3	4	5	6
曜 日	土	日	月	火	水	木	金
宿 泊 者	23	17	15	18	18	15	14
活 動 者	56	23	17	17	17	19	15
内 個 人	35	23	17	17	17	19	15
団 体	21	0	0	0	0	0	0

キャンプ 270 日のありがとう
宿泊利用者 7,477 名 活動者 8,587 名

- ◆ この3月、キャンプに宿は1,077名、キャンプをボランティアさんは1,255名大きさとなりました。
- ◆ この冬場、沿岸被災地の活動が目に見えて減少する個人ボランティアさん、加えて冬・春休みをさんの利用が増えたことを行うことができました。キャンプ開設以来270日、7,477名の方が宿泊利用され、8,587名の方が復旧・復興支援活動に参加しました。
- ◆ 新年度においては、キャンプは若干のスタッフの交代がありますが、盛岡市役所、宮古市役所、支援団体さん、地元川井地域にお住まいの方々などのご支援をいただきながら、被災地の復興支援センターとのニーズの調整を行い、ボランティアさんが活動しやすい環境づくりを進めてまいります。



泊されたボランティアさん
ベースに活動されたボラン
と、いずれも昨年9月に次ぐ

ボランティアさんによる支援
る中で、キャンプの特徴であ
が全国から駆け付けていただ
利用された高校生さん、学生
もあって継続的に支援活動を



3/31 朝のオリエンテーション



雪解けの閉伊川



3/31 朝のオリエンテーション